

## 2024.05.20 シニアクラブ Online 会合報告

蛇祭は悪霊や悪病から住民を護り豊作豊漁を祈願するなど全国各地で様々なお祭りが展開されています。

5月には間々田の「じゃがまた」が開催されて、宮田さんは地元の広報担当として活躍されたとのこと。かつて私たちが務めた日本ビクターの地元新子安からほど近い生麦でも6月に「蛇も蚊も」祭が開催されます。今回はそんな話から始まりました。

・まずは蛇が小さいところからの紹介です。千葉県市川市の国府台地区に昔から伝わる「辻切り」。「辻斬り」とは違います。

毎年1月に藁でつくった4体の蛇を集落の四方に飾り付けて、悪霊や悪疫の侵入を防ぐことを目的としています。蛇には大きな目玉が付けられて睨みを利かしています。<https://youtu.be/pxwTKXuewE4> 参照

大きな木に絡めて飾られるので時間が経つと葉も茂り、藁蛇は枝と一体になった感じとなって、悪霊もそれに気付かずに集落に入ってきてしまうかも。実際に写真を撮るために探すのに苦労しました。



・同じような風習が横浜市港北区でも行われていることをネットで見つけました。<https://www.miuken.net/entry/2019/04/10/000300> 参照

「注連引（しめびき）百万遍の藁蛇」といわれ、小学校の庭の桜の木に藁蛇を巻き付けて、子供達の安全を守っているとのこと。地元保存会の人たちが伝統を守っているようです。

・6月には、鶴見区生麦で「蛇も蚊も」祭が開催されます。飯田さんが普通だった小学校の近くで開催される祭りで、その思い出などの紹介がありました。かつては2体の蛇が街を練り歩き、最後は絡み合い、喧嘩してポロポロになった蛇を海に流していたとのこと。

環境意識が高まった現在では想像もつかないことで、時代の流れを感じます。現在の祭の様子は次を参照。<https://youtu.be/E1.2VcoEj0>

・新潟県関川村の「大したもん蛇」はギネス記録に登録された世界一の長さを誇る蛇が街を練り歩きます。ネット上にいくつものコンテンツが載っています。<https://youtu.be/SF5xLws8kwo> <https://youtu.be/oJ8k6i0HACY>

・宮田さんの地元の栃木県間々田で5月に開催された「じゃがまた」の報告がありました。<https://www.mamada-hachiman.jp/jyagamaita> 参照

400年も続く昔からの祭りで、現在、間々田1～6丁目+1で合計7体の大蛇が造られ、一堂に会した後それぞれの町内を練り歩くとのこと。かつては町を貫く奥州街道（国道4号）を練り歩きそれぞれがぶつかり喧嘩沙汰にもなったほどの祭りであったとのこと。

大蛇の中にはドライアイスが詰められて煙を吐く大蛇もあればLEDでピカピカと光を発するものもあったそうですが、2019年3月に国の重要無形民俗文化財に指定され、現在は一定の規律のもとに祭りが進行するようになっているとのこと。



今回紹介された蛇祭は以上ですが、皆様の地元でも古くからある蛇に関わる祭があることでしょうか。ぜひ紹介してください。

2024.05.21 JVCKWシニアクラブ事務局長 田代 周